

## 講座名

# 地域限定通訳案内士入門講座

中頭教育事務所

## 1 講座の趣旨

観光立県、英語立県を標榜する本県において、英語で観光ガイドができることを支援する目的で、地域限定通訳案内士養成の入門講座を実施する。



## 2 講座の概要

- ①日 程：平成28年9月18日（日）
- ②時 間：10:00～12:00
- ③学習時間：2時間
- ④実施場所：県立石川青少年の家



## 3 共催 なし

## 4 講座内容

No	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
4	9月18 日(日) 10:00～12:00	県立石川青 少年の家	講座まとめ ・受講生による英語でのプレゼンテーション 閉講式	沖縄通訳案内士会 (OIGA) 会員 マーシュゆかり氏	7人

## 5 成果

- ・実際に人前で英語によるプレゼンテーションをし、他の受講生からの感想を聞き、講師による的確なアドバイスによりものすごく良い体験になり、勉強できた。資格取得に向けて意欲が高まった。
- ・1つの資格に特化した内容で、中身がとても濃くて良かった。
- ・これからの沖縄観光業界のためとても良い内容でした。
- ・会場を石川青少年の家にしたことで施設も新しく、クーラーも使え、自然のすばらしい環境の中で講座に集中できた。

## 6 課題

- ・広報を新聞と生涯学習情報プラザ以外に検討する必要がある。

## 講座名

# ゆいまーる ～アウトドアを楽しもう～

那覇教育事務所

## 1 講座の趣旨

野外体験を通して、自然とのふれあいの素晴らしさや、災害時の野外技術など楽しく学ぶ。



## 2 講座の概要

- ① 期 間 平成28年6月18日（土）
- ② 時 間 10：00～14：00
- ③ 学習時間 4時間
- ④ 実施場所 沖縄県総合運動公園
- ⑤ 受講者数 26人

## 3 共催 なし

## 4 講座内容

No	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
1	6月18日(土) 10：00～14：00	沖縄県総合 運動公園	開講式：オリエンテーション 石釜オープン作り ピザ作り	福島 誠司 氏	26人

## 5 成果

- ・受講者からは、作ったことのない本格的な石釜作りが出来て良かった。野外活動の技術を学べて良かったと感想を寄せられました。

## 6 課題

- ・暑い中での石釜料理は、少し無理があった。熱中症対策を考える。

## 講座名

# ゆいまーる ～アウトドアを楽しもう～

那覇教育事務所

### 1 講座の趣旨

野外体験を通して、自然とのふれあいの素晴らしさや、災害時の野外技術など楽しく学ぶ。

### 2 講座の概要

- ① 期 間 平成28年7月16日（土）
- ② 時 間 9：00～14：00
- ③ 学習時間 5時間
- ④ 実施場所 沖縄県総合運動公園
- ⑤ 受講者数 32人



### 3 共催 なし

### 4 講座内容

No	日時	場所	内容	講師名	受講者数
2	7月16日(土) 9:00～14:00	沖縄県総合 運動公園	カヌー&SUP体験 タコライス	福島 誠司 氏	32人

### 5 成果

- ・受講生から、初めての SUP 体験は、立つのが難しかったけど、短い時間でも乗れるようになり楽しめ、知らない人とも仲良くなりアウトドアを楽しめ満足でした。
- ・野外の楽しみ方が増えたなど感想が寄せられました。

### 6 課題

- ・小さい子供も多く、プールの深さもあるので安全面の注意。

## 講座名

# ゆいまーる ～アウトドアを楽しもう～

那覇教育事務所

## 1 講座の趣旨

野外体験を通して、自然とのふれあいの素晴らしさや、災害時の野外技術など楽しく学ぶ。

## 2 講座の概要

- ① 期 間 平成28年9月10日（土）
- ② 時 間 10：00～14：00
- ③ 学習時間 4時間
- ④ 実施場所 沖縄県総合運動公園
- ⑤ 受講者数 34人



## 3 共催 なし

## 4 講座内容

No	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受講者数
3	9月10日(土) 10:0～14:00	沖縄県総合 運動公園	陶芸 フライパン作り 料理 ハンガリー料理	福島 誠司 氏	34人

## 5 成果

- ・受講者から、初めてのロクロ体験で、夢中になり癒されました。子供と楽しく作れた。仕上がりを楽しみなどの感想が寄せられ、受講者の学びを深めることが出来ました。
- ・料理は、海外の料理が紹介されるのが、楽しみと好評でした。

## 6 課題

- ・ロクロの時間を決めて交替してほしい。

## 講座名

# ゆいまーる ～アウトドアを楽しもう～

那覇教育事務所

## 1 講座の趣旨

野外体験を通して、自然とのふれあいの素晴らしさや、災害時の野外技術など楽しく学ぶ。

## 2 講座の概要

- ① 期 間 平成28年10月15日（土）  
～10月16日（日）
- ② 時 間 （土）14：00～22：00  
（日）7：00～12：00
- ③ 学習時間 13時間
- ④ 実施場所 沖縄県総合運動公園
- ⑤ 受講者数 30人



## 3 共催 なし

## 4 講座内容

No	日 時	場 所	内 容	講 師 名	受 講 者 数
4	10月15日（土） 14：00～22：00 10月16日（日） 7：00～12：00	沖縄県総合運動公園	ロープワーク 月桃の蒸留水 災害時の宿泊体験 閉講式	福島 誠司 氏	30人

## 5 成果

- ・受講者からは、福島先生の被災地での体験に基づいたお話は状況や課題がよくわかり、為になった。ロープワークが、生活の色々な場面で使える技で役立ちそう。必要最低限の調理方法で、時間や手間もかからず、キャンプでもやってみたい。沖縄の月桃での蒸留水は、香りも良く、肌にも安心なので、家でもチャレンジしてみたいなどの感想が寄せられ、災害時の過ごし方について考える機会と知恵を得ることができました。

## 6 課題

- ・受講者募集のやり方、人数。

## 講座名

# 「島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』」

島尻教育事務所

## 1 講座の趣旨

沖縄県民カレッジ広域学習サービスの全受講生を激励する機会とする。

県民カレッジ修了生の地域活動についての講話や実習を通して、まちづくりに参画できる資質を育てる。



## 2 講座の概要

- (1) 開講式
- (2) 講話「花と緑でまちづくり」
- (3) 実習①〈花を楽しもう〉



## 3 共催 豊見城市教育委員会

## 4 講座内容

No	日時	場所	内容	講師名	受講
1	11月1日(火) 9:00～12:00	豊見城市立 中央公民館	(1) 開講式 ① 開式の言葉 ② 主催者あいさつ ③ 歓迎のあいさつ ④ 行政説明 ⑤ 閉式の言葉 (2) 講話「花と緑でまちづくり」 (3) 〈実習①〉生活の中に花を・ 寄せ植え	与儀サエコ 喜舎場正光 屋宜 宣行	28人

## 5 成果

- ・開講式の行政説明やあいさつを通して県民カレッジの意義について理解を深め、受講生の意欲を高めることができた。
- ・地域で活動している方の実践発表を通して、「地域づくり」「まちづくり」への意識を持つことができた。
- ・実習の中で土作りや肥料等について専門的な説明があり、受講者の要望に応えることができた。

## 6 課題

- ・受付が混雑して時間がかかった。
- ・寄せ植えの実習では、底石の量が決まっていたので、最後の方が足りない場面があった。事前にグループごとに分けておく等工夫が必要だった。

## 講座名

# 「島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』」

島尻教育事務所

## 1 講座の趣旨

沖縄の食材（シークワサー）を使ったジュースづくりを通して、生活の中に食品づくりを楽しみ、地域活動に生かそうとする意欲を持つことができる。



## 2 講座の概要

実習②〈食を楽しもう〉

「ジュースづくり」

（南部農林高等学校）



## 3 共催 豊見城市教育委員会

## 4 講座内容

No	日時	場所	内容	講師名	受講者数
2	11月8日(火) 9:00 ~12:00	南部農林 高等学校	(1) はじめの言葉 (2) ビタミンC、殺菌について（高校生による説明） (3) 実習（ヒラミジュースづくり） (4) 質疑・応答 (5) お礼の言葉（受講生）	南部農林 高等学校 食品加工科 教諭 ・宮城 耕一 ・島袋 健一	28人

## 5 成果

- ・ビタミンを壊さない技術や殺菌の温度等、高校生の説明でよくわかったとの感想が多く、好評だった。
- ・班ごとに分かれた実習では、高校生が講師を務め受講生の質問に答える等、高校生と受講生との交流がありよかった。
- ・受講生自身がつくったジュースを殺菌して、翌週に持ち帰ることができた。
- ・校長先生や教頭先生が激励に来て下さり、受講生の励みとなった。

## 6 課題

- ・班の人数が違ったために、持ち帰るジュースの本数が多い方がいた。持ち帰るジュースの本数を最初で決めておく必要があった。
- ・質問の時間をもう少し長く取る必要があった。

## 講座名

# 「島尻は一つ 『花と食でつながる地域づくり』」

島尻教育事務所

## 1 講座の趣旨

沖縄の食材（トマト）を使ったお菓子づくりを通して、生活の中に食品づくりを楽しみ、地域活動に生かそうとする意欲を持つことができる。



## 2 講座の概要

実習③〈食を楽しもう〉

「お菓子づくり」

（南部農林高等学校）

## 3 共催 豊見城市教育委員会

## 4 講座内容

No	日時	場所	内容	講師名	受講者数
3	11月15日(火) 9:00～12:00	南部農林 高等学校	(1) はじめの言葉 (2) 実習の説明 (3) 実習「ロールケーキづくり」 (4) 質疑・応答 (5) お礼の言葉（受講生代表）	南部農林 高等学校 食品加工科 教諭 ・宮城 耕一 ・島袋 健一	26人

## 5 成果

- ・簡単に「ドライとまと」を入れたロールケーキを作れることが分かり、「自分でも家で作ってみたいと」意欲的な受講生の感想が多かった。
- ・班ごとに分かれた実習では、高校生が講師を務め受講生の質問に答える等、高校生と受講生との交流もありよかった。
- ・受講生自身がつくったロールケーキを各自、持ち帰ることができた。
- ・質疑応答の時間をしっかり確保したことで、受講生からのたくさんの質問、疑問に答えることができた。

## 6 課題

- ・講師の先生が欠席者のロールケーキを作ってくれていたのですが、欠席した場合はどうするのか、事前の確認が必要だった。